



Noritake

第 138 期
中間報告書

平成 30 年 4 月 1 日 ➡ 平成 30 年 9 月 30 日

株式会社
ノリタケ カンパニー リミテド
証券コード：5331



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より当社をご支援いただきまして、心より厚くお礼申し上げます。

ここにノリタケグループの平成30年度第2四半期（平成30年4月1日から平成30年9月30日まで）の経営成績と今後の取り組みについてご報告申し上げます。

平成30年12月

代表取締役社長

加藤 博

第138期第2四半期の連結業績のご報告

当第2四半期は、国内では雇用環境の改善を背景に個人消費が伸長したほか、企業の設備投資が活発で、景気の回復が進みました。海外では、米国は個人消費と設備投資が好調に推移し、中国では景気の持ち直しの動きに足踏みが見られるものの、欧州は堅調で、世界経済は緩やかに回復し続けています。しかしながら、今夏以降、米中間の関税引き上げによる経済制裁の応酬や、米国の金利上昇、また、英国のEU離脱問題など世界経済への影響について懸念が増大しています。

こうした経済情勢の下、当社は更なる事業の拡大を目指し、新たな市場の開拓と新技術・新商品の開発に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期の連結売上高は、619億61百万円（前年同期比8.9%増加）、連結営業利益は38億円、親

会社株主に帰属する四半期純利益は40億77百万円となりました。

中間配当につきましては、今後の業績の見通しや財務状況を総合的に勘案した結果、1株当たり40円とすることいたしました。株主の皆様には、なにとぞご理解賜りますようお願い申し上げます。

第138期(平成31年3月期)連結業績予想

売上高	123,000	百万円
営業利益	6,600	百万円
経常利益	8,700	百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,000	百万円

中期経営計画への取り組み

当社は安定した収益と成長が期待できる事業体制と経営体制の構築を目指して、本年を最終年度とする第10次中期経営計画の以下4つの基本戦略に取り組んでまいりました。

- 『製造・販売・技術が一体となって営業活動を推進することで、シェアを拡大するとともに、新しい市場の開拓を進める。』

セラミック・マテリアル事業では、ニーズを掘り新商品を投入するとともに、受注増加に対応するため生産設備の増強を図りました。

- 『新商品・新技術の開発によって市場競争力を高め、売上げの拡大を図る。』

工業機材事業では、砥石の均一構造技術を応用した商品が順調に売上げを伸ばしました。

エンジニアリング事業では、新素材向けの加熱炉の開発と拡販を推進しました。

- 『海外生産拠点の整備と海外市場の開拓を進め、事業の拡大を図る。』

中国蘇州工場で新工場棟の建設と大型砥石製造設備の増強を決定しました。引き続き工業機材事業を中心に、生産・販売体制の整備を行なってまいります。

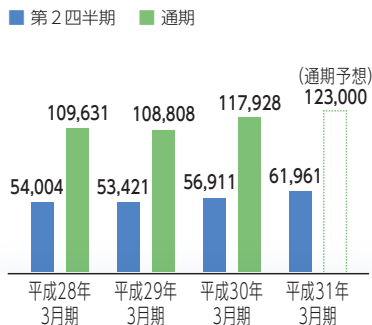
- 『経営インフラを整備し、経営体制の強化を図る。』

ものづくり強化活動を推進し、製品やサービスの品質向上に取り組んでいます。また、コンプライアンス、安全衛生や環境保全などの活動も積極的に推進しています。

株主の皆様におかれましては、こうした当社の取り組みについてご理解をいただき、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

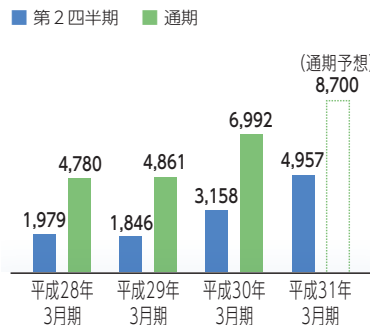
連結売上高

(単位：百万円)



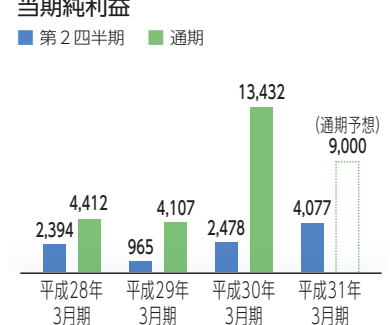
連結経常利益

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



事業別の概況(連結・当第2四半期)

工業機材事業

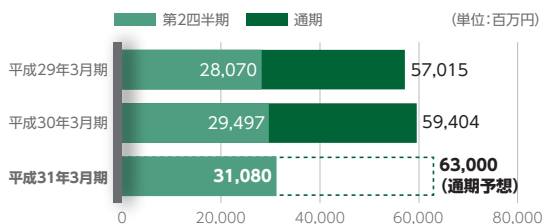


国内では、主要顧客である自動車、鉄鋼及びベアリング業界の生産が堅調に推移したこと、また、ダイヤモンド工具販売会社を連結子会社化したことで、売上は増加しました。海外では、北米の売上げが減少したものの、中国では鉄鋼・自動車業界の生産が高水準であったほか、東南アジアは自動車産業が回復基調となったことにより、増加しました。オフセット砥石などの汎用砥石は、アジア向けが低調で減少しました。



両頭平面研削
CBNホイール

その結果、工業機材事業の売上高は、310億80百万円(前年同期比5.4%増加)、営業利益は10億38百万円(前年同期比28.9%増加)となりました。



セラミック・マテリアル事業

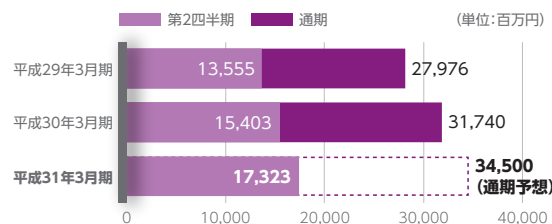


車載用や通信機器用の電子部品の需要が拡大したことから、電子ペーストはコンデンサー用及びインダクタ用が増加し、電子部材も伸長しました。触媒担体やセラミックコアは堅調に推移し、蛍光表示管は微増、石膏は横ばいとなりました。厚膜回路基板は、減少しました。



電子部材

その結果、セラミック・マテリアル事業の売上高は、173億23百万円(前年同期比12.5%増加)、営業利益は20億76百万円(前年同期比52.2%増加)となりました。



エンジニアリング事業

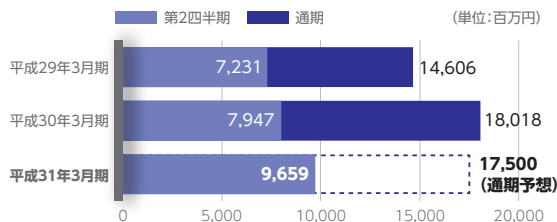


主力の乾燥炉及び焼成炉は、リチウムイオン電池及び電子部品分野の設備投資が活発に行われたことにより伸長しました。混合攪拌装置は、引き合いは増加したものの、大型案件が少なく低調に推移しました。濾過装置は、ベアリングや自動車向けが大きく増加しました。超硬丸鋸切断機は、海外向けは低調でしたが国内向けが伸長し、増加しました。



雰囲気焼成式
ローラーハースキルン

その結果、エンジニアリング事業の売上高は、96億59百万円(前年同期比21.5%増加)、営業利益は11億91百万円(前年同期比97.0%増加)となりました。



食器事業

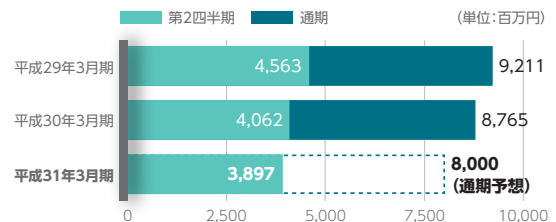


国内市場は、ホテル・レストラン向けは堅調に推移しましたが、地方の百貨店やエアライン向けが減少し、全体では前年並みとなりました。海外市場は、米国では主要顧客の百貨店等の販売低迷により減少しました。欧州・アジアでは、専門店及びホテル・レストラン向けは増加しましたが、エアライン向けが低迷し、全体では減少しました。



あけこもん すみこもん
朱小紋・墨小紋

その結果、食器事業の売上高は、38億97百万円(前年同期比4.1%減少)、5億5百万円の営業損失となりました。



連結財務諸表

■ 第2四半期連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円)

科 目	第138期 (第2四半期) 平成30年9月30日現在	第137期 (前期) 平成30年3月31日現在
資産の部		
流動資産	69,805	72,987
固定資産	84,406	83,295
有形固定資産	41,572	41,170
無形固定資産	1,154	1,105
投資その他の資産	41,680	41,019
資産合計	154,212	156,283
負債の部		
流動負債	37,752	42,842
固定負債	10,364	10,414
負債合計	48,116	53,256
純資産の部		
株主資本	88,982	85,448
資本金	15,632	15,632
資本剰余金	18,783	18,783
利益剰余金	55,754	52,261
自己株式	△1,188	△1,228
その他の包括利益累計額	13,722	14,159
その他有価証券評価差額金	15,088	15,012
為替換算調整勘定	△2,995	△2,437
退職給付に係る調整累計額	1,629	1,584
非支配株主持分	3,390	3,418
純資産合計	106,095	103,026
負債純資産合計	154,212	156,283

■ 第2四半期連結損益計算書(要約)

(単位：百万円)

科 目	第138期 (第2四半期) 平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで	第137期 (第2四半期) 平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで
売上高	61,961	56,911
売上原価	45,052	41,698
売上総利益	16,908	15,212
販売費及び一般管理費	13,108	12,989
営業利益	3,800	2,223
営業外収益	1,294	1,058
営業外費用	137	122
経常利益	4,957	3,158
特別利益	206	284
特別損失	83	206
税金等調整前四半期純利益	5,080	3,236
法人税、住民税及び事業税	936	681
法人税等調整額	△38	△129
四半期純利益	4,181	2,684
非支配株主に帰属する四半期純利益	103	205
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,077	2,478

■ 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)

科 目	第138期 (第2四半期)	第137期 (第2四半期)
	平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで	平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,016	3,630
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,935	△606
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,935	△1,935
現金及び現金同等物に係る換算差額	△120	△12
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△5,974	1,076
現金及び現金同等物の期首残高	16,087	8,910
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,112	9,987

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

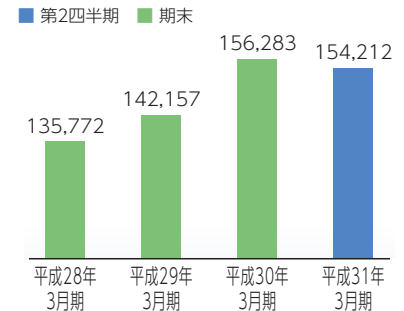
配当について(剰余金処分)

当第2四半期は、中間配当を1株当たり40円といたしました。

期末配当につきましては、1株当たり40円を想定しております。

連結総資産

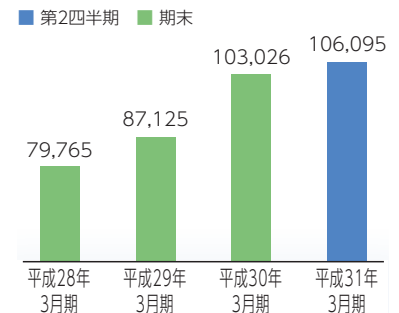
(単位：百万円)



〔「税効果会計に係る会計基準」の一部改正〕(企業会計基準第28号平成30年2月16日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、平成28年3月期、平成29年3月期、平成30年3月期の過去3期分に係る連結総資産の数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

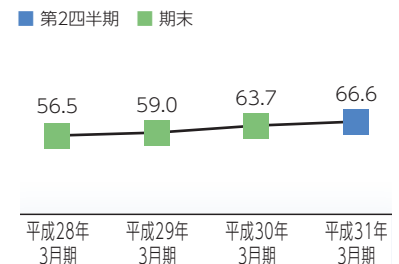
連結純資産

(単位：百万円)



連結自己資本比率

(単位：%)



電話やメールのほか、写真を撮ったり、調べ物をしたり、一日に何度も手にするスマートフォン。もうすっかり私たちの暮らしになくはないアイテムとなっています。

ノリタケはスマートフォンに搭載される電子部品の材料や、リチウムイオン電池の製造工程で使われる焼成炉などの提供を通じて、便利で快適な日常生活を支えています。



電極材料用焼成炉

リチウムイオン電池

スマートフォンに内蔵されているリチウムイオン電池の電極材料を製造する工程で、エンジニアリング事業の焼成炉が使われています。

リチウムイオン電池は、スマートフォンだけでなく電気自動車などにも幅広く使用されており、今後も高い設備需要が期待されます。



リチウムイオン電池

電子部品

スマートフォン内部の基板に並ぶのは、積層セラミックコンデンサーやインダクタといった、四角い箱状の小さな電子部品。それらには、材料としてセラミック・マテリアル事業の電子ペーストとセラミック材料が使用されています。

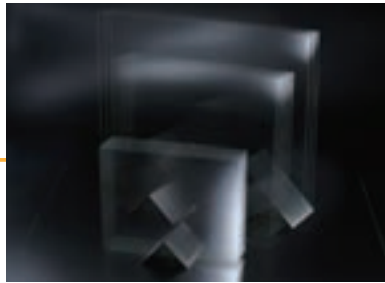
当社の材料を使用した電子部品は、高電流や高電圧に対する安定性が評価されています。スマートフォンの高性能化に貢献しています。



スマートフォンの基板と搭載された電子部品

電子ペースト

スマートフォンの中を



液晶用基板ガラス

ディスプレイ用ガラス

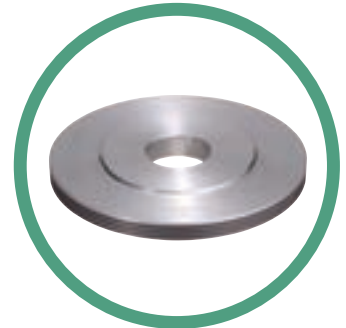
スマートフォンのディスプレイには、液晶の前後やLEDバックライトの前に複数の基板ガラスが使用されています。これら基板ガラスにはセラミック・マテリアル事業のガラス原料(シリカ)が使われています。

工業機材事業が扱うものには、スマートフォンなどの液晶ディスプレイに使用されるガラスの端や四隅を削ったり、穴を開けたりするダイヤモンド工具があります。

当社は「研削研磨の総合メーカー」として、様々な業界に向けて砥石・ダイヤモンド工具やその関連商品を販売しています。当社の製品は、電子部品や半導体業界でも活躍の場を広げています。



ガラス原料



ガラス面取用ホイール

のぞいてみたら・・・

会社概要／株式の状況

(平成30年9月30日現在)

会社概要

創 立	明治37年1月1日(合名会社)
設 立	大正6年7月20日
資 本 金	156億3,230万4,225円
本 社	名古屋市西区則武新町三丁目1番36号
従 業 員 数	1,914名(連結5,158名) (注)従業員数のうち、グループ会社への出向者は80名 であります。
連結対象会社	Noritake Co., Inc. 日本レヂボン株式会社 株式会社ノリタケコーテッドアプレーシブ 共立マテリアル株式会社 ノリタケ伊勢電子株式会社 Noritake Lanka Porcelain (Private) Limited (注)上記を含む連結対象会社23社、持分法適用会社4社

役員一覧

取締役

代表取締役会長	小 倉 忠
代表取締役社長執行役員	加 藤 博
取締役副社長執行役員	小 倉 久 也
取締役専務執行役員	加 藤 幸 三
取締役常務執行役員	東 山 明
社外取締役	山 田 耕 作
社外取締役	小 森 哲 夫

監査役

常勤監査役	青 木 哲 史
常勤監査役	白 石 直 之
社外監査役	村 田 隆 一
社外監査役	猿 渡 辰 彦

執行役員

専務執行役員	洞 口 健 一
常務執行役員	佐 藤 康 治
常務執行役員	志 手 秀 司
執行役員	伊 藤 健 二
執行役員	緒 方 誠 也
執行役員	石 田 清 治
執行役員	永 田 滉
執行役員	堀 江 雅 彦
執行役員	寄 田 浩
執行役員	夫 馬 裕 子

株式の状況

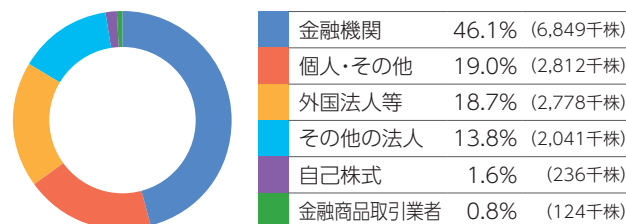
発行可能株式総数	39,750,000株
発行済株式の総数	14,842,849株
株 主 数	9,589名

大株主(上位10名)

株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
明治安田生命保険相互会社	1,291	8.84
第一生命保険株式会社	1,041	7.13
株式会社三菱UFJ銀行	569	3.90
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	526	3.61
T O T O 株 式 会 社	520	3.57
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	510	3.49
日本生命保険相互会社	384	2.63
東京海上日動火災保険株式会社	364	2.50
ノリタケ取引先持株会	295	2.02
日本スタートラスト信託銀行株式会社 (役員報酬B I P 信託口・75947口)	235	1.61

(注) 当社は、自己株式を236,972株保有しておりますが、上記大株主から除外してあります。また、持株比率は自己株式を控除して計算してあります。

所有者別持株比率



「日本フレキ産業」が、ノリタケグループに仲間入り



アスファルト切断用
ダイヤモンドブレード

2018年4月2日、当社は日本フレキ産業株式会社の発行済株式の全部を取得し、完全子会社化いたしました。同社は建設・土木業向けの道路カッターや、それに使用するダイヤモンド工具を企画・販売する会社で、ノリタケは1983年からアスファルトやコンクリートを切断するダイヤモンド工具の販売を同社に委託していました。

同社がノリタケの完全子会社となったことで、切断機械とダイヤモンド工具の技術開発を一体的に行うことができるようになります。また、現在同業界は、東京オリンピックに向けて活況を呈しているほか、老朽化した道路や橋梁などの補修工事が今後各地ですすめられることが見込まれており、同分野でのノリタケのダイヤモンド工具の販売拡大に寄与することが期待されます。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。電子公告の掲載ホームページアドレスは次のとおりです。 https://www.noritake.co.jp/koukoku/
定時株主総会の基準日	3月31日
剰余金の配当基準日	期末配当 3月31日／中間配当 9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
単元未満株式の 買取・買増手数料	無料
未受領配当金の支払	三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

コーポレートウェブサイト をリニューアル

2018年6月、当社公式ウェブサイト(食器のオンラインショップを除く)をリニューアルしました。新しいサイトは、スマートフォンやタブレット端末などでの見易さが向上したほか、新たにメニューボタンを設けたことで、知りたい情報へのアクセスが容易になりました。併せて、外部からの不正なアクセスを防ぐためのセキュリティ強化を図りました。



<https://www.noritake.co.jp/>



和花コレクション

オールドノリタケの画帖からモチーフを選び
現代の感覚で甦らせた和花コレクション。
クラシカルな魅力に溢れたデザインが
所有する喜びを与えてくれる逸品です。

Noritake

<https://tableware.noritake.co.jp/>